

品質保証検討グループ
2006年度 第3回会合 議事録 (案)

日 時 : 2007年1月19日 (金) 13:30~17:30
場 所 : システム計算科学センター 小会議室
出席者 : 瑞慶覧 (ナイス)、上松 (東芝)、
須山、奥村、岩本、柴田 (JAEA)、山野 (東工大) 以上7名 (敬称略・順不同)

配布資料:

0. 前回会合議事録 (案)
1. 核データの積分検証において記録すべき、断面積データ処理、輸送計算手法、検証方法・手順について (須山委員)
2. 文書管理規則及び文書管理方法について (須山委員)
3. U-238 を例とした記録書式及び記載内容 (Aグループ)

議 事 :

1. 前回会合議事録 (案) の確認がなされた。
2. 須山委員より資料 1 に基づき、積分検証において記録すべき、断面積データ処理、輸送計算手法、検証方法・手順について品質保証文書に記載すべき項目について説明があり、検討・議論が行われた。
 - (1) 検証方法の記述追加が必要
 - (2) ベンチマーク問題の要件の定義を行う (公開、データ完備、ドキュメント、信頼性評価)
JENDL 標準ベンチマークを定めるのがよいのではないかとの意見があった。
 - (3) 実験値の再現性についての系統的総合評価は品質保証文書に記載すべきではない。積分テスト WG の範囲ではないかとの意見があり、当該 WG に意見を聞くこととした。
 - (4) 積分検証に用いる計算システムは検証されたものを用いる。公開システムに限定すべきではないとの意見があった。
 - (5) 次回会合までに、B、Cグループのメンバーがそれぞれ本様式案に従って過去の例題について文書を作成し、記載内容に不備がないかどうか検討することとした。【宿題事項】
3. 須山委員より資料 2 に基づき、文書管理規則及び文書管理方法について説明があり、検討・議論が行われた。
 - (1) 文書管理システムを厳密に定義するよりは、キーワードで分類・検索・整理・抽出できるものとするのがよいとの意見があった。MS-Access のような市販に流通しているデータベースソフトによる電子ファイルの使用が適当である。
 - (2) 文書を整理・管理する人 (専門家) が必要。シグマ委員会 OB の協力を得てはどうか。予算措置が必要であれば提言して欲しい。
3. 岩本委員より資料 3 に基づき、U-238 の評価を例題として品質保証文書に記載すべき項目について説明があり、検討・議論が行われた。前回検討された項目が全て満たされているわけではないので、欠席したメンバーにも配布して意見を求めることとした。(事務局対応)
評価者の評価メモは貴重なので、できるだけ文書管理手順に従って電子文書として登録する。
4. その他

本会合に配布予定の性能保証のあるべき要件（案）は次回に検討することとし、グループリーダーより事前に委員に配布して各自意見を持ち寄ることとした。次回会合は予算があれば開催することとし、事務局が確認することとした。

（参考）A グループ：吉田、瑞慶覧、柴田、岩本

B,C グループ：山野、中島、上松、田原、須山、奥村、石川

次回予定：2007年3月8日（可能な場合） 場所：システム計算科学センター会議室（上野）

次回予定議題： 記載事項の必須項目（B,C グループ）の検討

記載事項の必須項目（A グループ）の検討

性能保証の要件についての検討

その他

以上